



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 近畿車輛株式会社

コード番号 7122 URL <http://www.kinkisharyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡根 修司

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 益田 浩

TEL 06-6746-5231

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	18,686	14.4	△11,526	—	△11,940	—	△11,949	—
28年3月期第2四半期	16,339	116.1	998	—	932	—	816	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △14,294百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 1,221百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△1,735.99	—
28年3月期第2四半期	118.64	—

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	59,193	17,325	29.3	2,516.94
28年3月期	57,563	31,826	55.3	4,623.49

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 17,325百万円 28年3月期 31,826百万円

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	2.2	△12,100	—	△12,700	—	△12,800	—	△1,859.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、株式併合を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	6,908,359 株	28年3月期	6,908,359 株
29年3月期2Q	24,871 株	28年3月期	24,613 株
29年3月期2Q	6,883,641 株	28年3月期2Q	6,884,056 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続については実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(業績予想について)

当社は、平成28年6月29日開催の第104回定時株主総会において、株式併合に関する議案が承認可決され、平成28年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株の割合にする株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成29年3月期の連結業績予想は、以下のとおりとなります。

1株当たり当期純利益

通期 Δ 185円95銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
4. 補足情報	P. 10
生産、受注及び販売の状況	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善など、緩やかな回復を続けていますが、円高の進行や中国を始めとするアジア新興国経済の減速による影響が懸念されるなど景気の下振れリスクもあり、先行きの不透明感が強まるうちに推移しました。こうした状況の中で、当第2四半期連結累計期間の当社グループ（当社及び連結子会社）における業績は、売上高が186億8千6百万円（前第2四半期連結累計期間売上高163億3千9百万円）と前年同期に比べ23億4千6百万円の増加となりました。利益面につきましては、当社の受注した案件におきまして、現時点での見積原価をもとに将来発生が見込まれる損失を受注損失引当金として計上したことなどにより、営業損失は115億2千6百万円（前第2四半期連結累計期間営業利益9億9千8百万円）、経常損失は119億4千万円（前第2四半期連結累計期間経常利益9億3千2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は119億4千9百万円（前第2四半期連結累計期間親会社株主に帰属する四半期純利益8億1千6百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鉄道車両関連事業

国内向車両の西日本旅客鉄道株式会社向電車、海外向車両のロサンゼルス郡都市交通局向電車等により、売上高は182億8千6百万円（前第2四半期連結累計期間売上高159億3千9百万円）となり、営業損失は113億5千4百万円（前第2四半期連結累計期間営業利益10億9千7百万円）となりました。

②不動産賃貸事業

東大阪商業施設及び所沢商業施設を中心に売上高は3億9千9百万円（前第2四半期連結累計期間売上高4億円）となり、営業利益は3億4千6百万円（前第2四半期連結累計期間営業利益3億4千6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、591億9千3百万円（前連結会計年度末575億6千3百万円）と16億3千万円の増加となりました。流動資産は主に受取手形及び売掛金及び仕掛品の増加により、374億3千8百万円（前連結会計年度末363億5千3百万円）と10億8千4百万円の増加となりました。固定資産は、217億5千5百万円（前連結会計年度末212億1千万円）と5億4千5百万円の増加となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、418億6千8百万円（前連結会計年度末257億3千6百万円）と161億3千1百万円の増加となりました。流動負債は主に短期借入金及び受注損失引当金の増加により、340億4百万円（前連結会計年度末180億3千8百万円）と159億6千6百万円の増加となりました。固定負債は78億6千4百万円（前連結会計年度末76億9千8百万円）と1億6千5百万円の増加となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、173億2千5百万円（前連結会計年度末318億2千6百万円）と145億1百万円の減少となりました。その主な要因は親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成28年10月25日に発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,552	2,595
受取手形及び売掛金	7,316	9,013
仕掛品	21,100	22,325
原材料及び貯蔵品	621	658
その他	2,770	2,855
貸倒引当金	△8	△9
流動資産合計	36,353	37,438
固定資産		
有形固定資産	11,727	13,238
無形固定資産	80	93
投資その他の資産		
投資有価証券	8,794	7,955
その他	673	529
貸倒引当金	△65	△60
投資その他の資産合計	9,401	8,423
固定資産合計	21,210	21,755
資産合計	57,563	59,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,514	5,447
短期借入金	1,206	5,529
1年内返済予定の長期借入金	588	754
未払法人税等	131	53
前受金	4,455	5,912
賞与引当金	334	411
製品保証引当金	549	546
受注損失引当金	1,319	12,125
その他	2,937	3,223
流動負債合計	18,038	34,004
固定負債		
長期借入金	2,354	2,765
退職給付に係る負債	2,439	2,453
その他	2,905	2,645
固定負債合計	7,698	7,864
負債合計	25,736	41,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,252	5,252
資本剰余金	3,124	3,124
利益剰余金	18,632	6,476
自己株式	△100	△101
株主資本合計	26,909	14,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,508	2,929
繰延ヘッジ損益	-	△132
為替換算調整勘定	1,756	84
退職給付に係る調整累計額	△347	△308
その他の包括利益累計額合計	4,917	2,572
純資産合計	31,826	17,325
負債純資産合計	57,563	59,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	16,339	18,686
売上原価	13,620	28,754
売上総利益又は売上総損失(△)	2,719	△10,068
販売費及び一般管理費	1,720	1,458
営業利益又は営業損失(△)	998	△11,526
営業外収益		
受取利息	5	0
受取配当金	61	64
雑収入	20	32
営業外収益合計	87	98
営業外費用		
支払利息	4	65
為替差損	113	325
雑支出	36	121
営業外費用合計	154	512
経常利益又は経常損失(△)	932	△11,940
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	932	△11,940
法人税、住民税及び事業税	65	11
法人税等還付税額	-	△65
法人税等調整額	49	64
法人税等合計	115	9
四半期純利益又は四半期純損失(△)	816	△11,949
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	816	△11,949

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	816	△11,949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△579
繰延ヘッジ損益	66	△132
為替換算調整勘定	285	△1,671
退職給付に係る調整額	42	39
その他の包括利益合計	404	△2,344
四半期包括利益	1,221	△14,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,221	△14,294
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	15,939	400	16,339	—	16,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	15,939	400	16,340	△0	16,339
セグメント利益	1,097	346	1,444	△445	998

(注) 1 セグメント利益の調整額△445百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△445百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
5,956	9,131	207	1,044	16,339

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、カタール国、アラブ首長国連邦

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	鉄道車両 関連事業 (百万円)	不動産 賃貸事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客への売上高	18,286	399	18,686	—	18,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0	△0	—
計	18,286	400	18,686	△0	18,686
セグメント利益又は損失(△)	△11,354	346	△11,007	△519	△11,526

(注) 1 セグメント利益の調整額△519百万円は、各報告セグメントに帰属していない全社費用△519百万円であり、全社費用は当社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 地域に関する情報

売上高

日本(百万円)	北米(百万円)	アフリカ(百万円)	アジア(百万円)	計(百万円)
6,622	10,490	181	1,392	18,686

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ合衆国

(2) アフリカ………エジプト・アラブ共和国

(3) アジア……………中華人民共和国(香港)、カタール国、アラブ首長国連邦

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	19,088	101.0
合計	19,088	101.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	8,702	33.0	157,170	88.2
合計	8,702	33.0	157,170	88.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメント毎に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
鉄道車両関連事業	18,286	114.7
不動産賃貸事業	399	100.0
合計	18,686	114.4

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

以上